株式会社クラレ

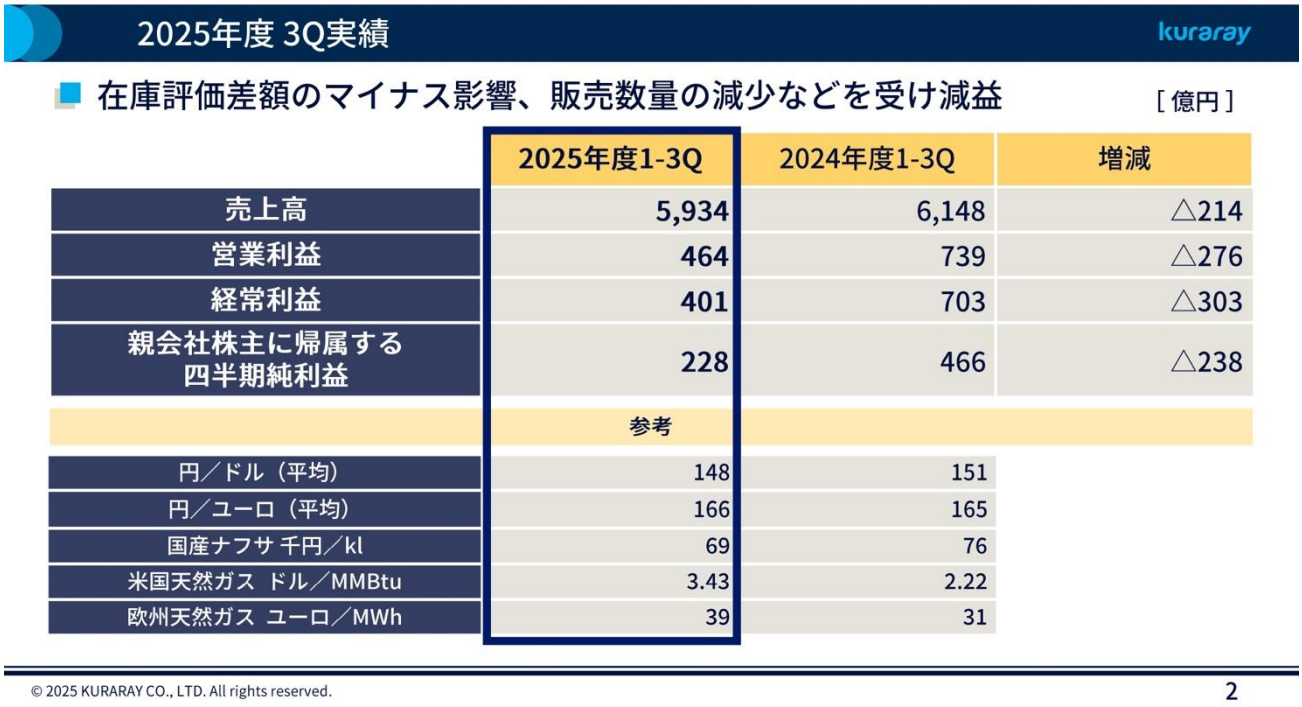
2025 年度第 3 四半期決算説明会

説明者

代表取締役社長　川原　仁

常務執行役員 経営企画室担当　　藤原　純一

2025 年 11 月 12 日



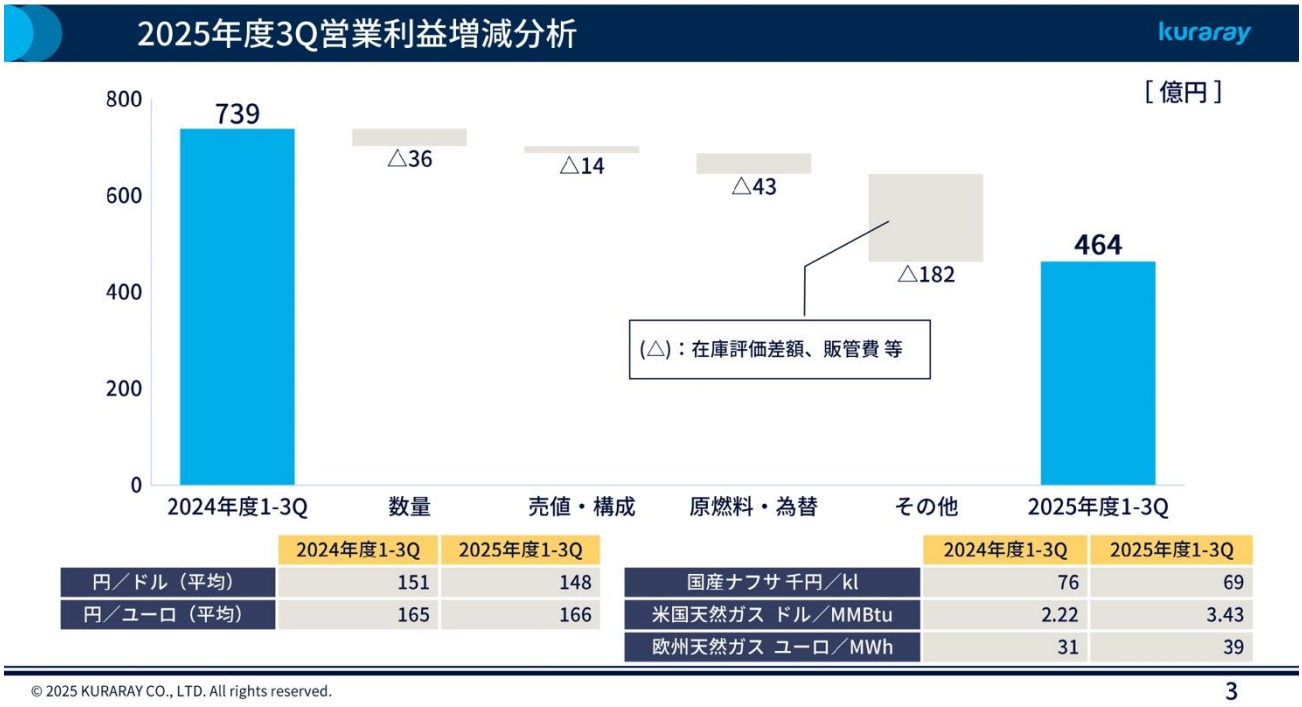
川原：社長の川原でございます。本日はお忙しいところ、クラレグループの決算説明会にご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、25 年度第 3 四半期の決算説明を始めさせていただきます。

25 年度第 3 四半期における事業環境については、米国の関税政策などにより先行き不透明な状況が続きました。日本経済は内需が底堅く推移したものの、外需の低迷により減速の兆しが見られました。米国経済は不確実性の高まりを背景に消費が停滞し、成長が鈍化しました。欧州経済は依然として低成長が続きました。中国では政府の景気刺激策により下支えされてきた個人消費に陰りが見られました。

そのような環境の中で、当社の 25 年第 3 四半期累計の実績としては、売上高は前年同期比 214 億円減の 5,934 億円。営業利益については、在庫評価差額のマイナス影響、販売数量の減少などにより、前年同期で 276 億円減の 464 億円。当期純利益は 238 億円減の 228 億円となりました。

為替及び原燃料の実績は資料に示してある通りです。



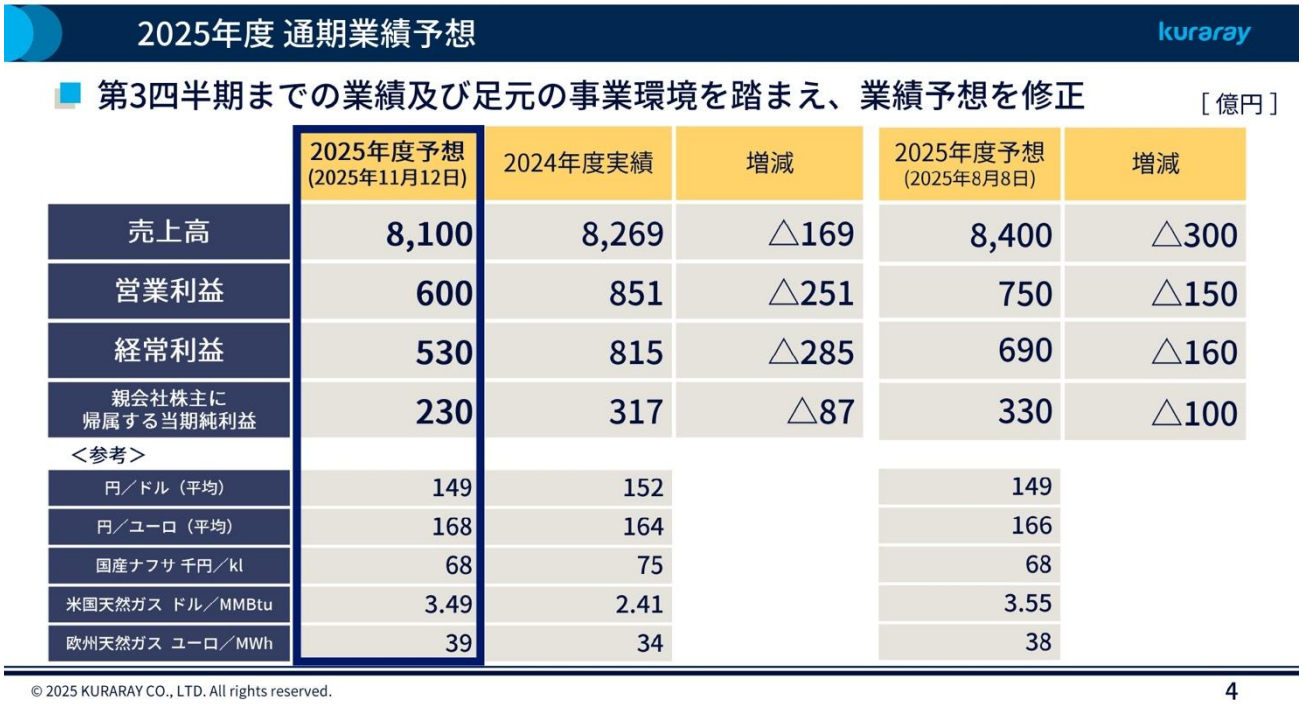
	2024年度1-3Q	2025年度1-3Q
円／ドル（平均）	151	148
円／ユーロ（平均）	165	166

	2024年度1-3Q	2025年度1-3Q
国産ナフサ 千円／kl	76	69
米国天然ガス ドル／MMBtu	2.22	3.43
欧州天然ガス ユーロ／MWh	31	39

このスライドでは、営業利益の増減要因の全社まとめを示しております。

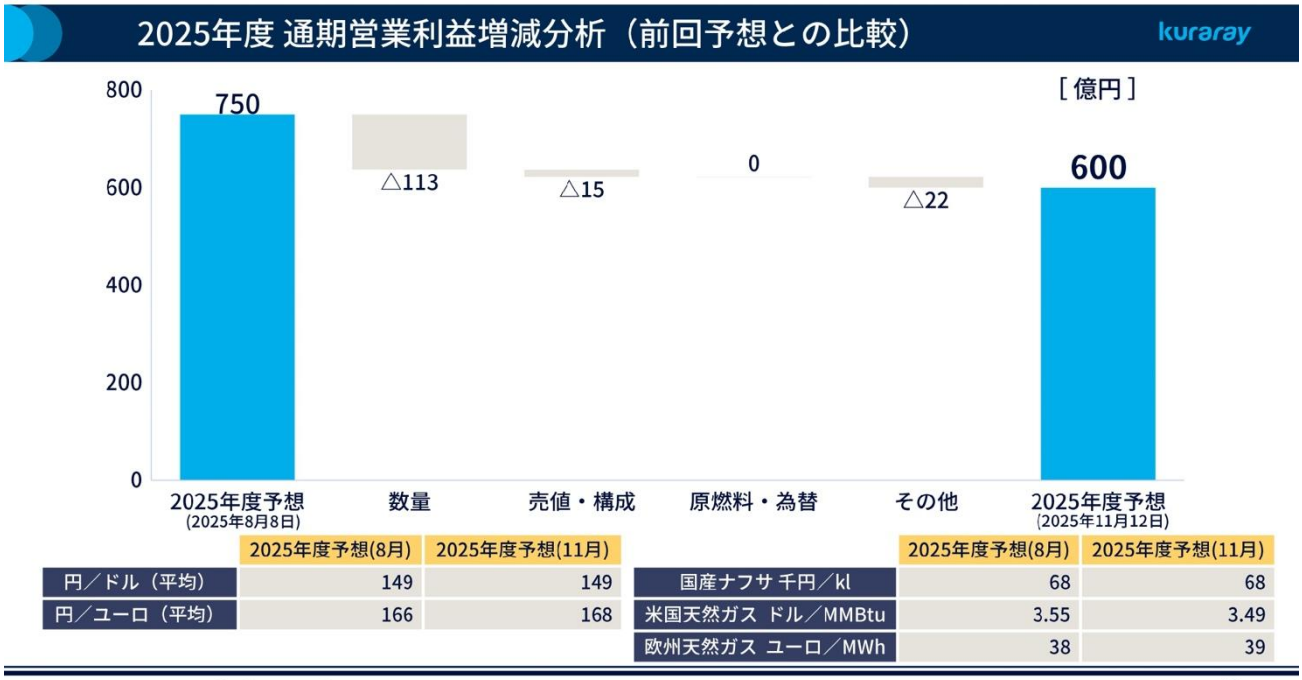
「原燃料・為替」は、原燃料価格の上昇などにより 43 億円の減益要因となりました。

「その他」は、在庫評価差額のマイナス影響や販管費の増加などで 182 億円の減益要因となりました。



第 3 四半期までの業績及び足元の事業環境を踏まえ、本年 8 月に公表いたしました通期業績予想を修正し、売上高につきましては前回公表より 300 億円減の 8,100 億円、営業利益は 150 億円減の 600 億円、経常利益は 160 億円減の 530 億円、当期純利益は 100 億円減の 230 億円としました。

8 月時点では想定しきれていなかった事業環境の悪化、米国関税政策による間接的なマイナス影響を業績予想に織り込みました。この内容について、次のスライドでご説明をいたします。



	2025年度予想(8月)	2025年度予想(11月)
円／ドル（平均）	149	149
円／ユーロ（平均）	166	168

	2025年度予想(8月)	2025年度予想(11月)
国産ナフサ 千円／kl	68	68
米国天然ガス ドル／MMBtu	3.55	3.49
欧州天然ガス ユーロ／MWh	38	39

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

このスライドでは、本年 8 月予想比の営業利益の増減要因を示しております。

「数量」によるマイナス影響が最も大きく、113 億円の減益要因となる見込みです。欧州経済の停滞による販売数量下振れ、米国関税政策により、欧州市場に流入したアジア競合メーカー品との競争の激化、先行き不透明感を背景とした一部顧客における購入時期の見直し、先送りなどの影響がありました。また、足元では米国市場が弱含んでおり、これらを十分に織り込み大きなマイナスを見込みました。

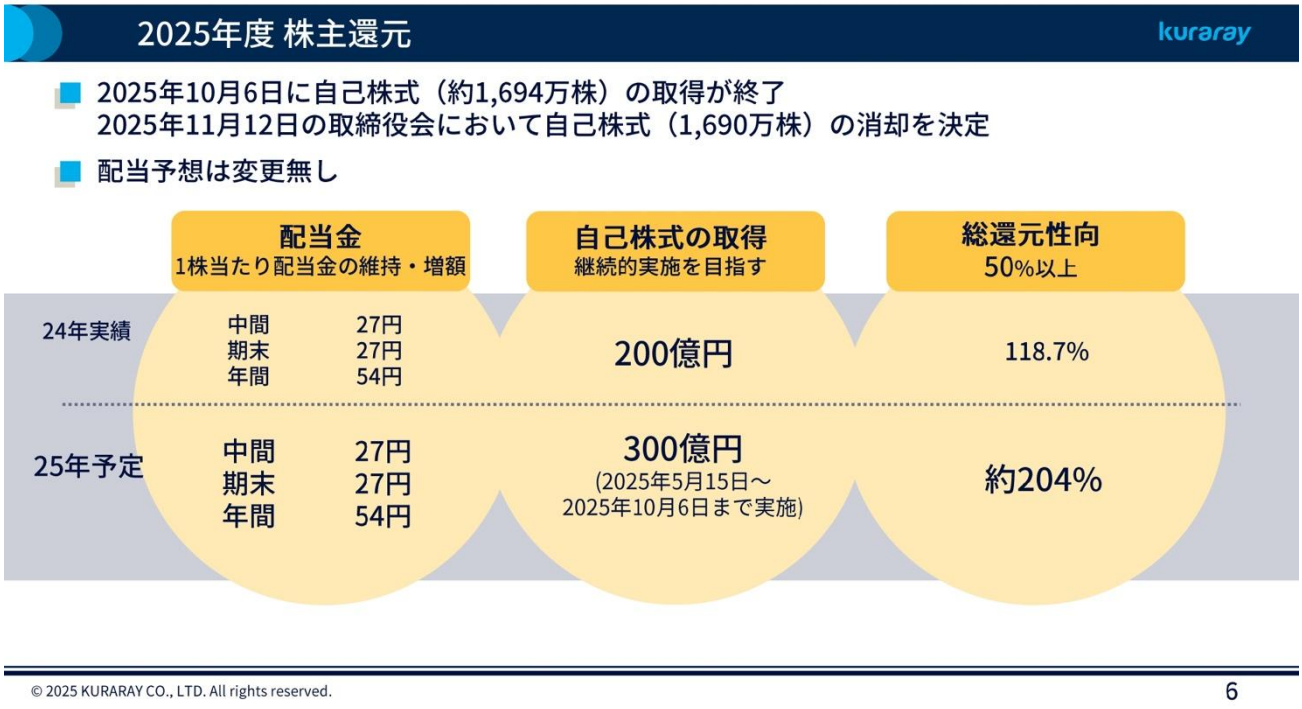
「売値・構成」は、メディカルが米国関税政策によるマイナス影響を受けるなどし、15 億円の減益要因となりました。

「その他」は、メタクリルが新潟事業所の渇水で定修後の設備立ち上げが遅れたことや、在庫評価差額及び内部取引の利益消去の見直しなどにより 22 億円の減益要因となる見込みです。

この結果、全体では 150 億円の減益を見込んでおります。

セグメント別では、後ほど 21 ページ目以降にお示ししておりますとおり、ビニルアセテートセグメントで 80 億円、活性炭事業を含む機能材料セグメントで 45 億円、イソプレンセグメントで 20 億円のそれぞれ減益要因を見込んでおります。

活性炭事業につきましては、足元では米国の関税政策により産業用途がマイナス影響を受けて大きく減少していますけれども、米国の飲料水用途の需要は拡大しており、PFAS 用途を中心とした中長期の成長ストーリーには大きな変化はないと考えております。拡大する需要の確実な取り込みを図ってまいります。



本年 2 月に見直した当社の株主還元方針は、親会社の株主に帰属する当期純利益に対する総還元性向 50%以上、1 株当たり配当金の維持・増額、自己株式取得については継続的実施を目指すということとしております。

通期の業績予想は変更いたしましたが、年間の配当予想は変更せず、中間配当金は 27 円を実施済み、期末配当金は 27 円を予定しており、年間配当金は 54 円となる見込みです。

また、5 月に決定しました自己株式の取得は、10 月 6 日までに約 1,694 万株、約 300 億円の取得を完了いたしました。

加えて、本日開催の取締役会において自己株式 1,690 万株の消却を決定いたしました。この消却は、本年 11 月 28 日付で実施予定です。なお、この 1,690 万株は消却前の発行済株式総数に対する割合では約 5.2%となります。当社は、今後も引き続き株主還元の充実を図ってまいります。

続きまして、決算の詳しい内容について、藤原常務執行役員よりご説明申し上げます。

セグメント別 売上高・営業利益

［億円］

	2025年度1-3Q		2024年度1-3Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	3,014	486	3,155	706	△141	△220
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	585	△22	561	△56	24	34
機能材料	1,485	63	1,523	93	△38	△30
繊維	437	13	462	22	△25	△9
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	491	42	482	41	8	1
その他	319	15	371	19	△52	△4
調整額	△397	△133	△406	△86	9	△47
合計	5,934	464	6,148	739	△214	△276

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

藤原：セグメント情報他、詳細についてご説明させていただきます。

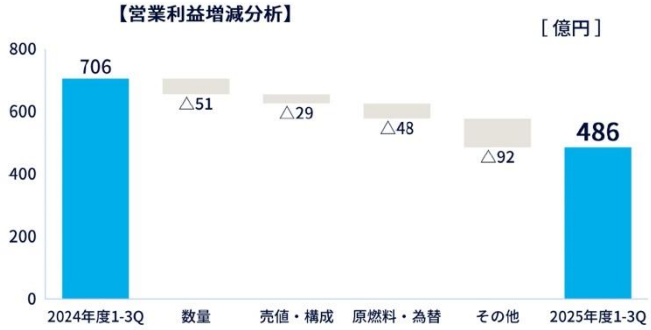
このスライドでは、各セグメントの売上高、営業利益の実績を前年同期との比較で示しております。ご覧のとおり、イソプレン、トレーディングのセグメントが増収増益となりましたが、それ以外のセグメントは減収減益となりました。

ビニルアセテートセグメントの概要

［億円］

	2024年度1-3Q	2025年度1-3Q	増減
売上高	3,155	3,014	△141
営業利益	706	486	△220

【営業利益増減分析】



ポバール樹脂	販売数量は前年の欧州向け物流の混乱に起因した特需が一巡し、欧米中心に需要が低調となり減少。利益面では在庫評価差額や原燃料価格上昇によりマイナス影響。
光学用ポバールフィルム	販売数量は中国の家電買替支援策などを背景に順調に推移していたものの、当第3四半期に入り、サプライチェーンにおける在庫調整が影響。利益面では在庫評価差額によりマイナス影響。
高機能中間膜	〈セントリグラス〉は米州を中心に販売が順調に推移したが、PVBフィルムはアジアを中心に競争環境の厳しさが増し、建築及び自動車用途ともに販売数量が減少。
水溶性ポバールフィルム	欧州を中心に個包装洗剤の需要が低調となり、販売数量は横ばい。
〈エバール〉	食品包装用途は、欧州・アジアで想定したほど販売数量が増えず。自動車用途は堅調に推移し、全体で販売数量は増加。利益面では在庫評価差額や原燃料価格の上昇によりマイナス影響。

主な増減要因	欧州経済の停滞等により想定したほど販売数量は増えず、また利益面では在庫評価差額や原燃料価格上昇によるマイナス影響があり、セグメント全体で減益。

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

9

ここからはセグメント別に事業の状況を説明いたします。

最初はビニルアセテートセグメントです。

当セグメントは前年対比で減収減益となりました。各事業の販売の状況は、スライドの右上のコメントをご覧ください。

営業利益は前年同期比で 220 億円減少しました。「数量」は、欧州経済の停滞等により、想定したほど販売数量が増えずに 51 億円の減益要因となりました。

「原燃料・為替」は、原燃料価格の上昇などで 48 億円の減益要因となりました。「その他」は、在庫評価差額によるマイナス影響などで 92 億円の減益要因となりました。

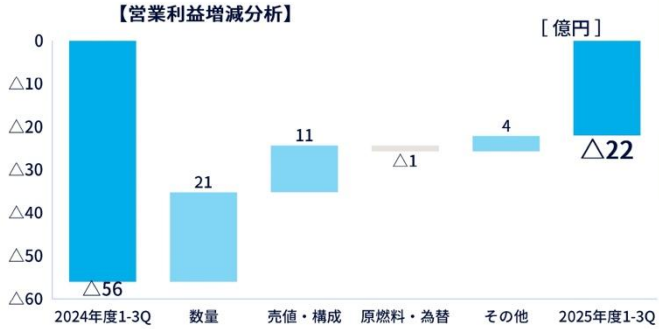
以上のことから、セグメント全体で減益となりました。

イソプレンセグメントの概要

［億円］

	2024年度1-3Q	2025年度1-3Q	増減
売上高	561	585	24
営業利益	△56	△22	34

【営業利益増減分析】



イソプレンケミカル、エラストマー	販売数量の増加及び販売構成の改善が進むも、イソプレンケミカルは上期に米国関税政策の影響により需要の前倒しがあり、当第3四半期はその反動により調整局面。エラストマーは米国関税政策により欧州市場等においてアジアの競合メーカーとの競争が激化。
〈ジェネスタ〉	電気・電子用途の需要が回復し、自動車用途での拡販も進み、販売数量が増加。
主な増減要因	タイ拠点の稼働安定及び当該拠点を活用した拡販が業績改善に寄与し、セグメント全体で増益。

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

イソプレンセグメントです。

当セグメントは、前年対比で増収増益となりました。各事業の販売状況は同じく右側のコメントをご覧ください。

「数量」は、タイ拠点の稼働が安定してきたことに加えて、当該拠点を活用した拡販が進んだことで、21 億円の増益要因となりました。

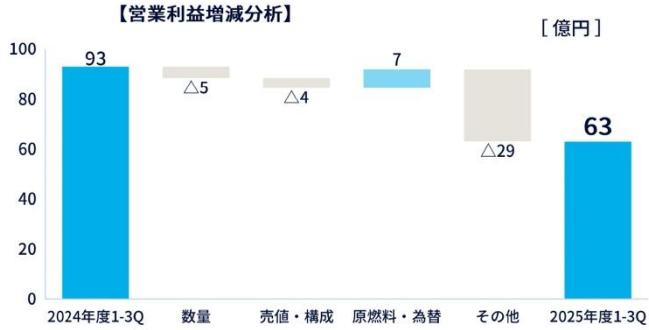
セグメント全体の営業利益は 34 億円の増益となりましたが、冒頭川原から説明しましたとおり、イソプレンケミカル、エラストマーが米国の関税政策の影響を受けております。事業環境が厳しさを増しておりますが、引き続き販売拡大、タイ拠点の有効活用を図っていきたいと思っております。

機能材料セグメントの概要

［億円］

	2024年度1-3Q	2025年度1-3Q	増減
売上高	1,523	1,485	△38
営業利益	93	63	△30

【営業利益増減分析】



メタアクリル	25年7月からメタクリル酸メチル及び一部の川下製品の生産能力を縮小したことに加えて、一時的な生産トラブルがあり販売数量が減少。
メディカル	審美治療用歯科材料の販売が欧米を中心に引き続き好調に推移しており、今後の拡販に向けてマーケティングを強化。
環境ソリューション	活性炭の販売数量は増加したものの、米国関税政策や景気の先行き不透明感から一部顧客において購入時期を見直す動きがみられ、想定数量には届かず。昨年12月に珪藻土、パーライト事業を譲渡した影響もあり、減収。利益面では米国寒波や生産トラブルによりマイナス影響。

主な増減要因	米国寒波や生産トラブル等によるマイナス影響で、セグメント全体で減益。

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

機能材料セグメントです。

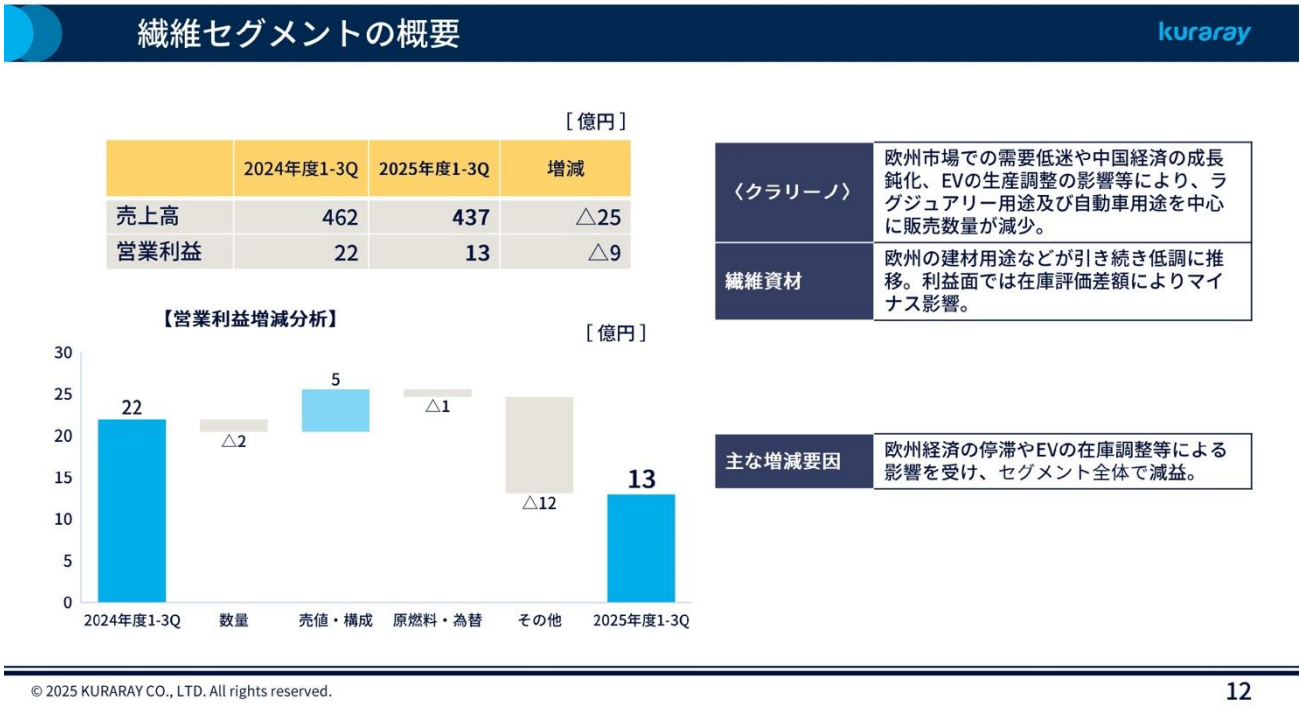
当セグメントは前年対比で減収減益となりました。各事業の販売の状況は、同じく右上のコメントのとおりです。

「数量」は、活性炭事業におきまして、前年同期比で販売数量は増加したものの、米国関税政策や景気の先行き不透明から、一部の顧客において購入時期を見直す動きが見られております。

飲料水用途はおおむね計画どおり推移しているものの、特に産業用途の落ち込みが大きく、想定数量には届きませんでした。これも冒頭、川原から説明したとおり、欧米の顧客で相当景況感が悪化しているのではないかと見ており、産業用途の落ち込みにつながったと考えております。

一方、メタクリルについては、第 3 四半期からメタクリル酸メチル及び一部の川下製品の生産能力を縮小しました。これに伴いまして販売数量が減少し、5 億円の減益要因となりました。

「その他」については、活性炭事業において米国の寒波、あるいは生産トラブルによるマイナス影響などがございました。メディカルでは拡販に向けたマーケティング強化による経費の増加があり、29 億円の減益要因となりました。



繊維セグメントです。当セグメントは前年対比で減収減益となりました。各事業の販売の状況は、右上に記載のコメントをご覧ください。

「売値・構成」については、ビニロン製品の値上げなどにより 5 億円の増益要因となりました。一方で、在庫評価差額のマイナス影響などにより、「その他」はマイナス 12 億円の減益要因となりました。欧州経済の停滞や EV の在庫調整等による影響を受けまして、セグメント全体の営業利益は 9 億円の減益となりました。

貸借対照表①(資産の部)

kuraray

［億円］

	2025年9月末	2024年12月末	増減
流動資産	5,747	5,653	94
固定資産	7,193	7,260	△67
資産合計	12,940	12,912	27

	2025年9月末	2024年12月末
円／ドル（期末）	149	158
円／ユーロ（期末）	174	165

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

13

このスライドでは貸借対照表の資産の部を昨年 12 月末と比較しております。

流動資産は 94 億円の増加となりました。金融機関が減少した一方で棚卸資産が 157 億円増加したことによるものです。

一方、固定資産については、第 3 四半期に持分法適用の物流会社である岡山臨港の株式を譲渡したほか、兵庫県宝塚市中山台の不動産を売却したことなど、事業ポートフォリオの高度化を進めた結果などにより、67 億円の減少となりました。

貸借対照表②(負債と純資産の部)

kuraray

［億円］

	2025年9月末	2024年12月末	増減
流動負債	2,262	1,982	280
固定負債	3,229	3,112	117
負債合計	5,491	5,094	397
純資産合計	7,448	7,818	△369
負債・純資産合計	12,940	12,912	27
自己資本比率	56.3%	59.2%	△2.9%

	2025年9月末	2024年12月末
円／ドル（期末）	149	158
円／ユーロ（期末）	174	165

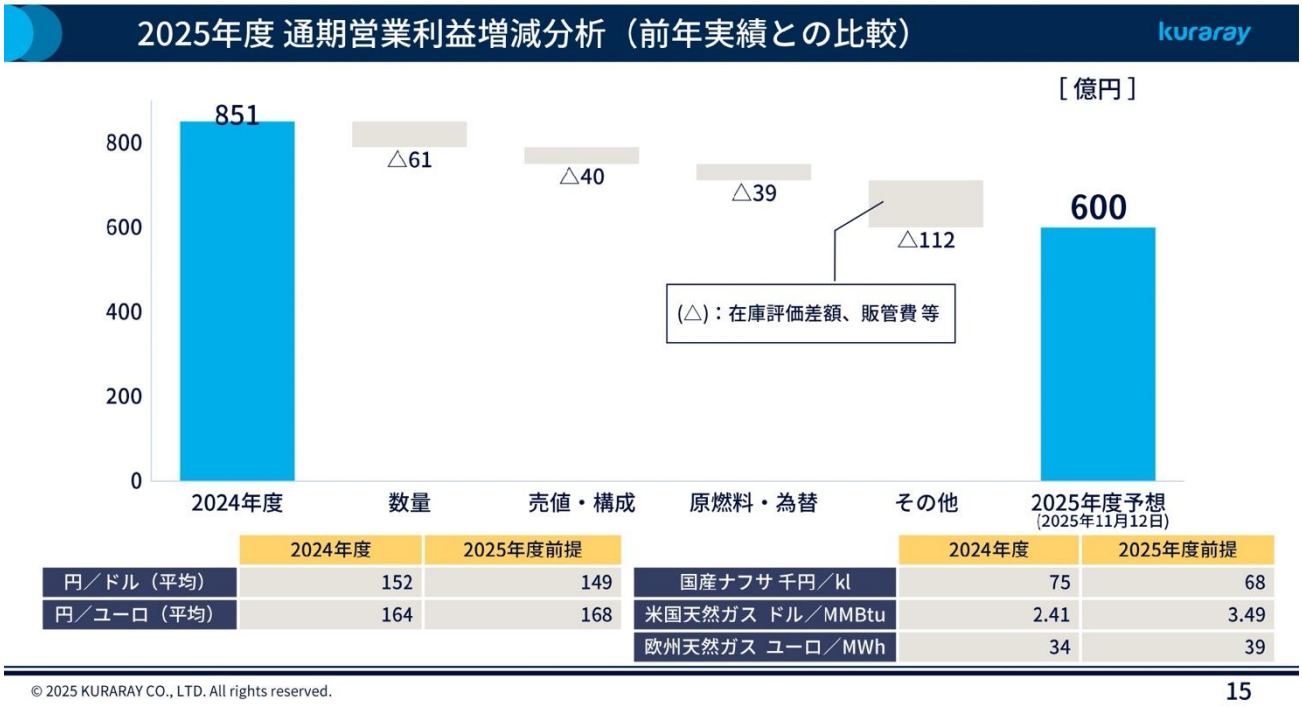
© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

このスライドは貸借対照表の負債、純資産の部を示しております。

負債は、借入金やコマーシャルペーパーの増加ということで 397 億円の増加となりました。

一方、純資産は、自己株式の取得を進めたことや、為替影響で為替換算調整勘定が減少方向になったことにより、369 億円の減少となりました。

この結果、自己資本比率は昨年 12 月末に比べて 2.9%減少し、56.3%となりました。



	2024年度	2025年度前提
円／ドル（平均）	152	149
円／ユーロ（平均）	164	168

	2024年度	2025年度前提
国産ナフサ 千円／kl	75	68
米国天然ガス ドル／MMBtu	2.41	3.49
欧州天然ガス ユーロ／MWh	34	39

このスライドでは、24 年度実績対比の営業利益予想の増減要因を示しております。

25 年度はビニルアセテート関連事業が欧州経済の停滞等により販売数量が下振れたことなどで、「数量」が 61 億円の減益要因となる見込みです。

一方、「その他」は、在庫評価差額のマイナス影響などで 112 億円の減益要因となり、全体では 251 億円の減益を見込んでおります。

【参考】セグメント別 売上高・営業利益比較

［億円］

	2025年度予想 (2025年11月12日)		2024年度 実績		増減		2025年度予想 (2025年8月8日)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	4,080	640	4,149	876	△69	△236	4,200	720	△120	△80
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	810	△55	764	△95	46	40	840	△35	△30	△20
機能材料	2,070	105	2,080	129	△10	△24	2,160	150	△90	△45
繊維	620	20	627	12	△7	8	630	20	△10	0
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	670	60	676	59	△6	1	700	65	△30	△5
その他	420	10	509	23	△89	△13	425	0	△5	10
調整額	△570	△180	△535	△154	△35	△26	△555	△170	△15	△10
合計	8,100	600	8,269	851	△169	△251	8,400	750	△300	△150

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

16 ページ目以降は、修正した業績予想のセグメント別比較、詳細計数情報となりますので、参考までにご覧ください。

以上で決算の説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。

【参考】セグメント別 四半期売上高推移

［億円］

	2024年度					2025年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q (予想)	通期 (予想)
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	990	1,098	1,067	994	4,149	1,004	1,025	985	1,066	4,080
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	172	204	185	203	764	197	203	186	225	810
機能材料	487	540	496	557	2,080	476	505	504	585	2,070
繊維	138	174	150	165	627	134	163	140	183	620
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	153	169	160	194	676	167	172	151	179	670
その他	117	133	121	138	509	111	110	98	101	420
調整額	△136	△128	△142	△129	△535	△141	△127	△129	△173	△570
合計	1,922	2,190	2,036	2,121	8,269	1,948	2,052	1,935	2,166	8,100

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】セグメント別 四半期営業利益推移

［億円］

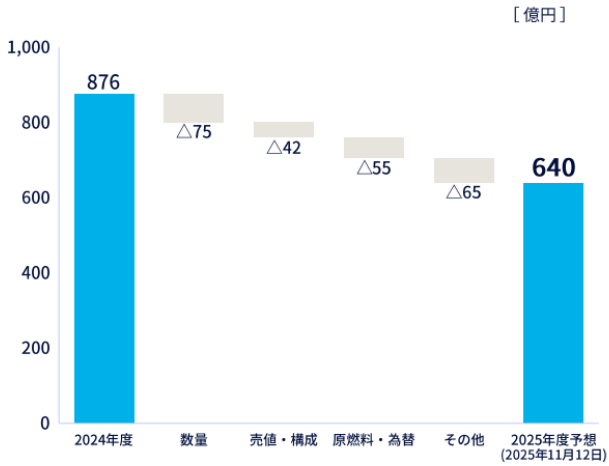
	2024年度					2025年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q (予想)	通期 (予想)
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	248	191	267	170	876	159	140	187	154	640
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	0	△40	△15	△39	△95	28	△41	△9	△33	△55
機能材料	32	32	28	36	129	20	9	34	42	105
繊維	△2	10	15	△10	12	△6	5	14	7	20
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	13	14	14	18	59	14	17	12	18	60
その他	4	5	10	4	23	1	6	7	△5	10
調整額	△8	△45	△33	△68	△154	△30	△59	△44	△47	△180
合計	288	167	285	112	851	187	76	201	136	600

© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

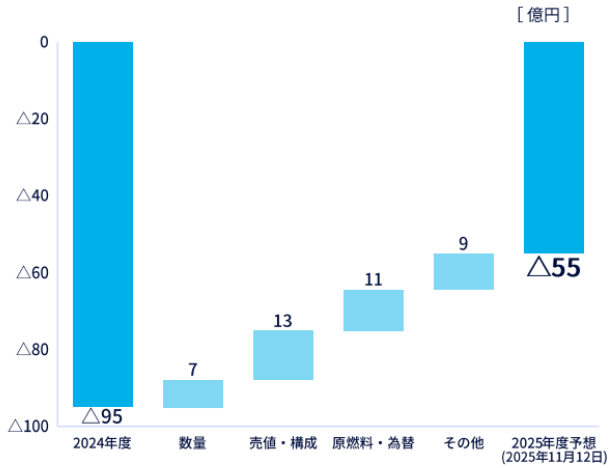
【参考】セグメント別 営業利益増減分析（前年実績との比較）

kuraray

ビニルアセテートセグメント



イソプレンセグメント

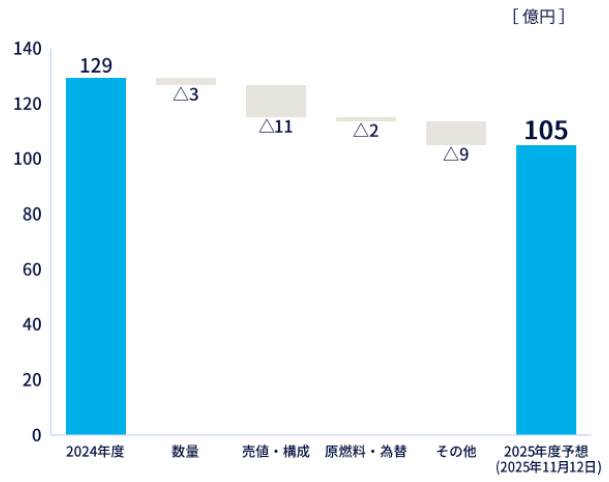


© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

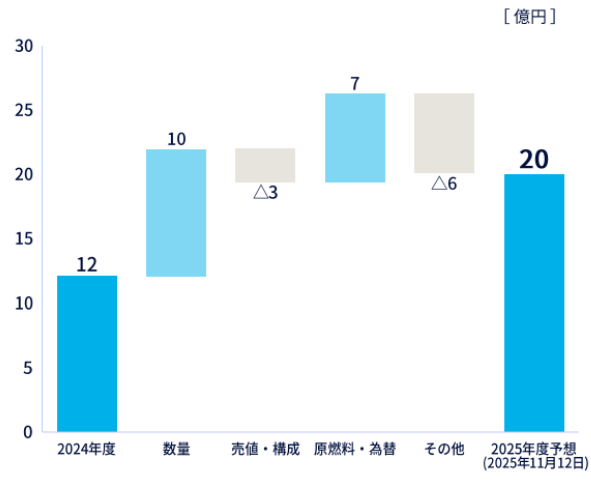
【参考】セグメント別 営業利益増減分析（前年実績との比較）

kuraray

機能材料セグメント



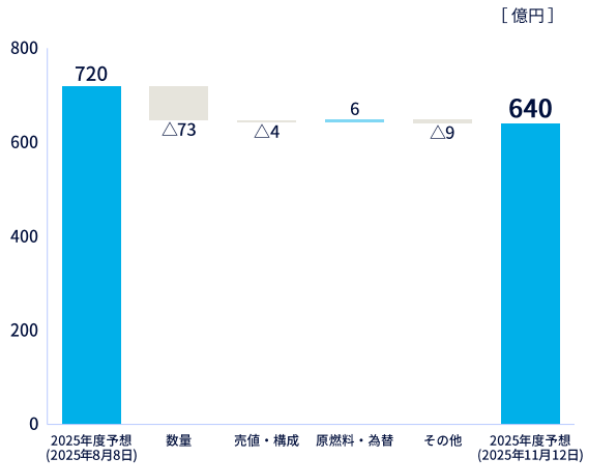
繊維セグメント



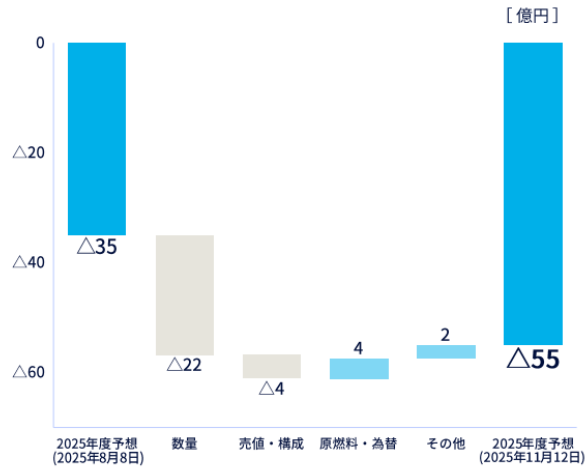
© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】セグメント別 営業利益増減分析（前回予想との比較）

ビニルアセテートセグメント



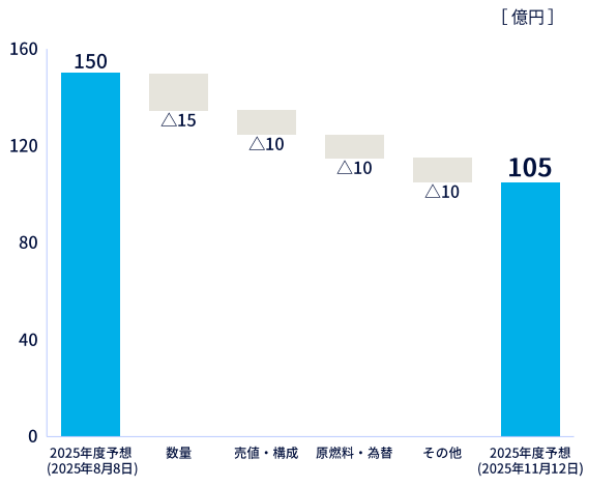
イソプレンセグメント



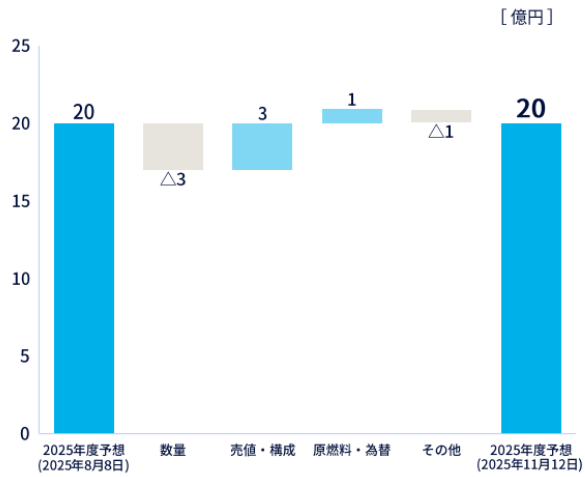
© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】セグメント別 営業利益増減分析（前回予想との比較）

機能材料セグメント



繊維セグメント



© 2025 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.